

春の菊池さん

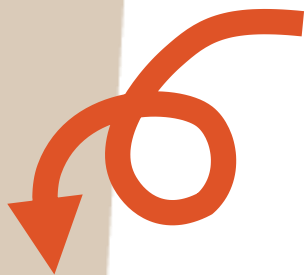


2022

第59号

①アプリ「ポケット学芸員」
をダウンロードして、
「菊池寛記念館」で検索！

②リストからガイド
番号をクリック！



③解説が読めるよ！

始めました

ポ
ケ
ツ
ッ
ト
学
芸
員



おしらせ

※行事内容は一部変更になる場合があります。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から変更又は中止となることがあります。
※マスク着用など、新型コロナウイルス感染症対策に御協力ください。



菊池寛記念館コレクション展

入場無料

直筆原稿で読む「六宮姫君」

「六宮姫君」は元々『今昔物語集』のお話で、菊池寛や芥川龍之介がそれぞれ作品を書いています。菊池寛直筆の原稿の味わいをお楽しみください。



菊池寛直筆原稿「六宮姫君」

＊期間：4/16 (土) - 6/12 (日) ＊会場：菊池寛記念館 研究閲覧室

令和4年度 文芸講座

入場無料

令和4年6月から令和5年3月までの指定土曜日に実施予定です。詳細が決定次第、市報、チラシ、ホームページなどでお知らせします。

＊会場：視聴覚ホール ＊定員：先着80名 ＊事前申込：不要



香川県にまつわる文学のちょっとしたお話 ～宮沢賢治と香川県～

宮沢賢治が四国を訪れたという記録はありませんが、商人であった賢治の父・政次郎は、仕入れのためにたびたび四国を訪れていました。特に丸亀がよい仕入先だったそうです。

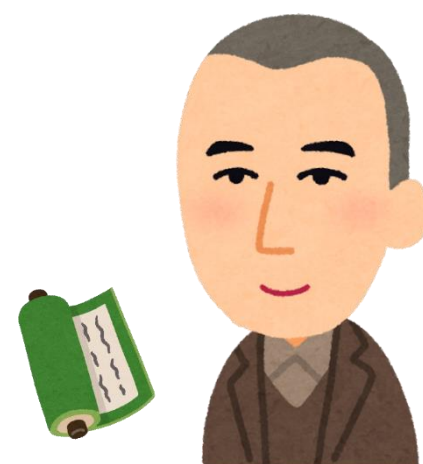
それからもう一つ、香川県とゆかりがあります。それは、賢治の遺言「経埋ムベキ山」です。これは、賢治が法華経を埋経してほしいと遺言した32の山の名前で、賢治の死後、政次郎によって遺言通りに埋められたといわれます。そしてこの埋経した法華経の校正をおこなったのが、香川県丸亀市出身の、後に第19世本照寺住職となる松本日宗でした。

当時盛岡にいた日宗は、政次郎に依頼され完璧な校正を行ったと記録されています。

日宗は、賢治の最期の願いの実現に関わった、重要な人物の一人でした。

松本日宗と政次郎との詳細は、『新校本 宮沢賢治全集』第16巻(下)

(筑摩書房)に掲載されています。＊当館に関連書籍の所蔵はありません。



春の菊池さん第59号

発行：令和4年4月20日 菊池寛記念館（高松市昭和町一丁目2番20号／087-861-4502）
<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kyouiku/bunkabu/kikuti/kantop.html>

